

第21期一般陸曹候補生課程入隊式

自衛隊神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 呉屋1等陸尉）は、4月6日（土）、陸上自衛隊武山駐屯地（神奈川県横須賀市）に所在する東部方面混成団第117教育大隊で執り行われた「第21期一般陸曹候補生課程入隊式」において、保護者に対する家族支援を実施した。

入隊式では、保護者及び関係者の見守る中、真新しい紫紺の制服を身に着けた候補生632名が、りりしくもやや緊張した表情で力強く宣誓し、自衛官としての第一歩を踏み出した。

入隊式に参列した保護者の中には、「親元を離れて約2週間で見違えるほどたくましくなった」と涙を浮かべる方もいて、「3カ月の教育修了後、更に成長した姿を見ることが楽しみだ」との声も聞かれた。

藤沢募集案内所の広報官も、入隊式のはつらつとした隊員の姿を見て、採用試験から入隊まで親身に寄り添い、同じ目標に向かって努力してきたことを思い返し、達成感と募集業務のやりがいを感じることができた。

藤沢募集案内所は、「今後の募集広報活動においても自衛隊の魅力を発信し、志願者や入隊者を一人でも多く増やしていくよう各種活動に励んでいく所存である」としている。



「キャンプ座間 日米親善桜まつり」において広報活動を実施

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、4月6日（土）、在日米陸軍キャンプ座間を一般開放して開催された「キャンプ座間 日米親善桜まつり」に参加し、広報活動を実施した。

当日、祭り会場は、春らしい陽気の中、普段立ち入ることができない米軍基地内の約300本の桜の木の下、米陸軍軍楽隊の演奏やDJライブ、アメリカカンパイドの屋台などを楽しむ多数の来場者でにぎわった。

厚木募集案内所は、多数展示された陸上自衛隊第4施設群の車両の近隣にブースを設置して、自衛隊の活動のパネル展示や広報官による自衛官の採用制度の説明などを実施し、自衛隊の活動や入隊などに関する来場者の質問にも丁寧に回答した。

また、ブースには神奈川地本キャラクター「たま」も駆け付け、ちびっ子たちと握手したり、来場者や米軍人との記念撮影に快く応じたりして、募集広報に大きく貢献した。

厚木募集案内所は、「多くの世代の方々に自衛隊や自衛官を身近に感じていただけたと思う。また、地域住民の方々と触れ合いは、広報官で良かったと思う瞬間でもあり、あらためて我々の責務の重さを感じる瞬間でもあった。今後も我々の使命の重要性を認識し、満開の桜に負けない様々な『花』を咲かせられるよう努力していきたい」としている。

